福島成蹊中学校通信 2020年度 第5号

林間教室

9月18日・19日と南蔵王野営場を舞台に中学2年生の林間教室がおこなわれました。不便な生活の中に、様々な発見や喜びがあったようです。今回の経験から、また少したくましく成長することができました。

林間教室は友達がいたからこそ乗り越えられたものがたくさんある。登山や野外炊飯、沢登り･･･挙げていたらきりがないほどだ。命は尊く、自然は厳しく、友達は偉大であるということを一度に感じることができた最高の２日間であった。　加藤　ひな乃（福島市立矢野目小学校出身）

イワナつかみでは、これから食べる食材を捕まえるという感覚がすごく新鮮でおもしろかったです。昼食では、そのイワナをさばきました。ついさっきまで生きていたものをさばくのは、自分たちが命をいただいて生きているということを実感し、貴重な体験になりました。　奥山　大樹（福島市立南向台小学校出身）

山に着いた時には風が強く、雨も降っていて登山には向かない天気でした。正直、弱気になっていました。しかし、登っているうちにだんだんと気分が上がってきて楽しくなってきました。本当ならきれいな御釜が見られたはずだったので少し残念でしたが、真っ白な風景もきれいでした。　熊田　空（郡山市立高倉小学校出身）

どれも初めてしたことばかりだったので、戸惑いなどがありました。登山もつらく、野外炊飯も正直面倒でした。ですが、これらを乗り越えたことがこれからの自分の成長の糧になると思います。この経験を胸に、今の便利な世界に感謝して生活したいと思います。　菅野　はるか（福島市立第一小学校出身）

尾瀬・燧ケ岳登山(中１)

９月１７日から２泊３日で尾瀬へ！心配していた天気も何とか持ちこたえ、初めての自然体験行事を充実したものにすることができました！

今回の経験から、友達の大切さと、諦めないことの大事さを学びました。尾瀬はとても綺麗な場所で、もっと長くいたいと思いました。心残りもあるので、今度また尾瀬に行きたいです。　渡邉　鈴那（須賀川市立西袋第一小学校出身）

努力が苦手な自分が、辛い状況の中、なぜみんなに「がんばれ！」と声をかけ続けることができたのかは、いまだに自分でもよく分かりませんが、どちらかと言えば楽しかったです。　佐藤　成真（福島市立野田小学校出身）

尾瀬には多種多様な生物がいることを知り、自然は素晴らしいと改めて感じました。また、登山の時に友達が心配してくれて、思っていたよりも優しいと感じました。　櫻井　奏鷹（伊達市立保原小学校出身）

３日目の散策で綺麗な尾瀬沼を間近で見れたことが嬉しかったです。また、長蔵小屋から帰るときに電気バスに乗りました。自然にも害が及ばないので良いなと思いました。　佐藤　陽香（福島市立松川小学校出身）

尾瀬で見る綺麗な星空を実際に見れなかったのは残念でしたが、プラネタリウムで星座についての話を聞き、共感したり、新たな発見があったことは良かったです。　星　琴音（郡山ザベリオ小学校出身）

頂上に到着すると雲が僕たちの下にあり、高さを実感しました。僕一人では絶対ここまでは来れなかったと思います。友達がいるって幸せだと思いました。　原垣内　悠叶（福島市立三河台小学校出身）

長蔵小屋での生活で、自然を守っていくことについて感じることが多くありました。不便さはありますが、小屋で生活している方々は自然を守るためにこの生活を続けていることに尊敬の念を抱きました。　齋藤　優那（桜の聖母学院小学校出身）